

「数学の歴史と教育国際会議(HPM2012)」が日本語で発表可能に！

<http://www.hpm2012.org/> <http://www.clab.edc.uoc.gr/HPM/INDEX.HTM>

韓国では日本の皆様の世界への貢献に期待しています。是非、この機会をご活用下さい。

1. 公用語が英語と韓国語に、日本語と中国語が翻訳対象語に！

- 全体セッションは英語が公用語で韓国語は同時通訳。
- 口頭発表は英語のパワーポイントで韓国語発表可。
- 英語のパワーポイントが用意されれば、日本語と中国語の投稿可 (LOCが英訳)
(以上、セコンドアナウンスメント)

2. 日本語での発表方法は？

特に日本に対する LOC 委員長からの直接オファーは以下の通りです。

- 口頭発表とワークショップの要約投稿締め切りは **11 月 30 日**
- ポスターと展示の要約締め切りは **12 月 31 日**
- 要約は日本語で投稿することができる (LOC が英訳)
- 発表パワーポイントが英語であれば、論文は日本語で投稿できる (LOC が英訳)
(遅れる場合は isoda@criced.tsukuba.ac.jp までご相談下さい)

3. HPM とは？

HPM は、IMU の一部門である数学教育国際委員会(ICMI)傘下の国際学術研究組織です。数学史と数学教育を橋渡しする学会で、すべての数学教師 (数学史家、数学者、数学教育学者も含む) に開かれています。「定木とコンパスしか古代ギリシャ数学では許されていなかった」というような怪しいおとぎ話が繰り返され創作される背景に警告を発したい方、先端の数学史研究成果や数学史を参照した数学教育の望まれる在り方を議論したい方、漢字文化圏における数学史・数学教育を知りたい方など門戸は広く開放され、参加することで数学教育の文化・歴史背景を深く・興味深く学べる学会です。

4. 全体講演者が確定

全体講演:「文化：心と手」Ubiratan d'Ambrosio (Brazil),「原典を利用した数学学習」Janet Barnett (USA),「19世紀工学における数学用具」Dominique Tournès (France),「高等学校での数学史利用」Tsang-Yi Lin (Taiwan). 全体パネル 1:「教員養成課程における数学史教育」Kathleen Clark (USA), Funda Gonulates (Turkey), Maria Rosa Massa (Spain), Frédéric Métin (France). 全体パネル 2:「HPMが将来に向け取り組むべき実証的研究」Uffe Thomas Jankvist (Denmark), Yi-Wen Su (Taiwan), Masami Isoda (Japan), David Pengelley (USA).

5. 漢字文化圏の国際会議

今後、漢字文化圏の国際会議などもHPM傘下に組み込まれる可能性があります。そうなった場合、自律的学術交流、国際共同研究と、国際学術会議との区別が明瞭になります。この機会に国内の指導的研究者と若手の参画が期待されます。

文責：HPM理事／数学教育学会理事：国際担当 礒田正美